



草花が満開に咲き誇る比叡の新緑のなか、威儀を正し法要に出仕する僧侶の列



発行所
比叡山時報社
〒520-0116 大津市坂本本町4220
郵便番号 520-0116
電話 077-578-0001
振替 00970-2-9732
宗教法人延暦寺事務所
定価 1部110円 年1200円

延暦寺広報

叡山講福聚教会
会報

年会費 (3000円) 中
に会報 (比叡山時報)
購読料を含む。

令和5年比叡山から
発信する言葉
真の心を開き発す

ホームページから



ご購入は延暦寺

新年度を迎えて一カ月、新緑のなかで思う

新年度が始まってはや一カ月。新しい生活を迎え、新しい縁、満開の桜を目にすると共に、過ぎやすい季節になってきました。山麓の坂本では「湖国三大祭り」の一つにも数えられる日吉大社の「山王祭」が斎行され、コロナ禍のため中止となっていた七基の神輿による行事が4年振りに復活しました。

山王祭の見どころである「宵宮落とし神事」は、大山昨神・鴨玉依姫神による結婚・出産、御子神誕生の儀式ともいわれ、大政所にて一基約1500キロとかの重量級の重さのある神輿が、駕輿丁と呼ばれる神輿の担ぎ手により1時間以上も揺らされて、神が出産される際の陣痛の苦しみが表示されます。その後、神輿は60メートル先にある日吉大社境内の鼠社までの到着が競い合われ、その勇壮な祭りの様子は見るものに往時の神輿と山徒の都入りを想起させます。

そして4月14日の例祭には、天台座主猊下以下の僧侶が比叡山延暦寺より西本宮を正式参拝しました。

神仏の相関関係は明治の初め頃に見られるように、時代により変化してきましたが、大いなるものに対する私たちの畏敬の念は変わりありません。

さて、4月からの新生活の中で、たくさんのお会い、ものとの関わりを得て、周囲の環境は目まぐるしく変化を見せながら5月を迎えます。新人生、新社会人はその環境の変化にうまく対応できずに悩み苦しむことがよくあり、それ故その症状は「五月病」と呼ばれることもあります。

また、新たな出会いの環境とは逆に、忘れてしまったり失ってしまう環境も出てきます。出会えたご縁の一人ひとりに対し真剣に接していかないと、気付いた時に「後悔」が自分の心に大きく残ってしまうものです。もちろん新たな出会いも大切です。その上でまずは後悔の無いように自分の家族・親友・身の回りの人を大切にしましょう。焦らず、自分自身を一つひとつゆっくりと順番に見つめ直していけば、環境の変化にも適応しやすくなるのではないのでしょうか。

